

1. 3. 3 専門家派遣

実証事業の実施にあたって実施者または担当者は、コスト縮減や普及といった課題の解決に取り組むために必要な関係者が集まる場を設け、技術的内容について専門家の意見を聴く場合に限り、専門家（以下「専門家委員」という。）の指導を住木センターに要望することができるものとした。なお、本年度の派遣実績としては1件であった。

1. 3. 4 各実証事業の講評とまとめ

本年度実施した12件について、検討委員会で講評を行った。委員から出された意見等を以下に記す。

（1）（株）ニヘイ／一級建築士事務所 建築計画工房

- ・現場は北海道にあり、積雪が1.5メートルもあるため、積雪荷重が過大となる。平柱を2.6メートル間隔で配置し、7メートルあるCLTを柱の間に建て込んでいく工法をとり、張弦梁で大スパンを実現していた。木造倉庫のメリットを設計者に伺ったところ、鉄骨造と比べ結露の心配がほとんどない点が挙げられた。これはかなり大きなメリットだと思うので、木造化・木質化に向け、取り組んでいただきたい。

- ・鉄骨造の場合、どうしても柱に集中荷重が掛かるため、特に札幌あたりは地盤が悪いので、杭を打つことになる。そして、20年ぐらいで建て替えるということになると、杭を抜く費用が発生する。それを考えると、ベタ基礎などで収まる木造は解体もスムーズに行えて、非常にメリットがあると感じた。また、CLTの輸送費を抑えるため、設計者はかなり努力されたとわかり関心いたしました。蛇足ですが、北海道で大きな版を作れないのが問題だと感じます。

（2）（株）細井建設／（有）阪根宏彦計画設計事務所

- ・鉄骨で水平力を負担し、CLTのみでスパンを飛ばしているのも、コスト的には有利になると思う。最終的なコスト比較資料があればよい。

（3）医療法人令和会 森歯科／studio KOIVU 一級建築士事務所

- ・山形にして大きなスパン屋根を飛ばしているため、スラストが発生する。RC部分がスラストを抑える役割を果たしており、よく設計されていると感じた。施工に関しても、現場での組み立てを想定し、試作体で検証を行った上で進められてた。

- ・山形の束の部分に設けられた開口部には、鉄骨フレームを組んでガラスを入れて光を取り込んでいますが、防水処理がしっかりされていないと結露が生じる可能性があるため、耐久性の観点から少し心配されます。

- ・このような形状の建築物は、施工の合理性からみてRC造を選択することが一般的ですが、木造で設計することで、RC造では表現しにくい可能性のある空間を表現できると感じました。

（4）京都信用保証協会／（株）片岡英和建築研究室

- ・増築されるRC部分とCLT部分は、構造的に切り離されるエキスパンションジョイントを用

いて設計されてた。また、コストを抑えるためにクロスマーク金物が積極的に活用されている工夫が見られた。2 階の CLT 部分には柱のない空間が設けられているが、構造計算が適切に行われていることも確認されました。こうした再生事例で CLT を採用することは、非常に新しい試みであり、良い取り組みだと考えます。

・増築ということで RC 部分と木造部分の音質の違いについて検証されており、そういったデータが蓄積されていくことでより知見が深まっていくと思います。一部、結露が気になる箇所がございましたが、詳細設計も十分にされている印象でしたので、特に問題はないかと思われます。

(5) (株)吉秀トラフィック／ライフデザイン・カバヤ(株)

・現地を訪れた際の印象として、広々とした空間であり、階高もかなり高いと感じました。
・防火の観点から、建築主の希望でできるだけ木材を露出させたいという要望があり、燃え代設計で木材を露出させる予定でしたが、倉庫の特性上、耐火被覆が必要だったとの説明がありました。木質空間を表現できなかったのは残念でしたが、結果として非常に使い勝手の良い建物が完成したと思う。

(6) 川之江港湾運送(株)／島田治男建築設計事務所

・入口外観は木質部分にし、事務所部分は石膏ボードで覆うなどメリハリのついたデザインだと感じた。また、現場近くに既存の RC 造事務所があり、海沿いの立地による塩害の被害が多いことから、その被害を抑えるために CLT 造にすることが決定された。今後の経過観察が重要。

(7) (個人)／(株)響建設

・モジュールで構造単位を構成し、システム化されている印象を受けた。また、BIM を活用し加工データまで一貫して管理することで、全体として非常に統合されたシステムだと感じた。
・BIM の活用により、金物の干渉チェックが容易に行え、現場作業員に的確な指示ができるという利点が報告された。

(8) (株)響建設

・CLT のユニットで構成された建物で、加工などはほとんど手作業のため、精度確保に苦労されていた。ユニットで建てる事例が増えるにつれ、課題が明らかになりつつある。

(9) 瑞穂建設(株)／ライフデザイン・カバヤ(株)

・CLT パネル工法でさらに集成材の梁をかけ大スパンを実現している。独自の工法が確立されつつあると感じた。

(10) (株)セイエル／(株)大本組 東京本社一級建築士事務所

・RC 防火壁のシャッターが延焼を確実に防ぐことができるのか検討が必要。特にシャッタ

一内部に関して、石膏ボードとケイカル張りは燃えてしまう可能性があるので、収まりについてよく検討した後に建築してほしい。

(11) (同)TKG／(株)響建設

- ・敷地が狭く、高架線も多いなか、BIM を活用し、三次元的に検証することで施工がスムーズに行えたと報告があった。現場には定点カメラが設置されており、工事の状況を WEB から見渡せるようになっていて、建て方にはだいぶ配慮されていた。

(12) (株)マスナガ／(株)リズムデザイン

- ・屋根勾配が低く、管理面での課題がある。特にテンション材の効果がどこまで発揮されるか、今後の経過観察が重要。また、施工段階での慎重な対応が求められる。
- ・屋根の形を維持しながら吊り上げて設置する作業は容易ではなく、特に長部の接合部がそれほど強固ではないため、慎重な作業が求められると感じた。設置後にタイバーを緊張させる工程を踏むものと考えられ、施工の難易度が高いことが伺えた。

1. 4 成果の普及

1. 4. 1 成果報告会

実施事業の成果は下記の成果報告会において報告した。本年度は提案事業が多いことから、2日間の開催とした。成果報告会では、「CLT建築物事例集2023」、「CLT建築物事例集2024」を配布するとともに、学識関係者と本年度の実施者を交えたパネルディスカッションを開催し、本事業の成果の普及に努めた。開催概要は（1）（2）の通り。

（1）令和5年度 成果報告会タイトル：－地域から広がる、CLT 建築を目指して－

開催日：令和6年3月4日（月） 13:00～16:30

令和6年3月5日（火） 13:00～16:30

会場：東京大学弥生講堂 一条ホール（東京都文京区弥生1-1-1）

報告形式：会場参加＋WEB を用いたオンライン報告会

定員：51名（対面）+464名（WEB）

CLTを活用した建築物等実証事業(令和5年度)成果報告会
公益財団法人 日本住宅・木材技術センター講演会 合同開催
・地域から広がる、CLT建築を目指して・



CLT(直交集成材)は木造建築の可能性を広げるものとして期待されています。令和3年3月には同から「CLTの普及に向けたロードマップ」として、令和7年度までの5年間のCLT普及方針が示され、CLTの一層の需要拡大の取組が図られています。こうした中、研究機関や民間事業者においては国等の支援も活用しながら様々な取り組みが進められ、CLTを活用した建築物は令和5年度に1,000件を超える見込みです。
当センターでは平成36年度から特別補助事業「CLTを活用した建築物等実証事業」において、CLTの活用拡大に向けた取り組みを行っており、本成果報告会では、令和5年度における実証事業の成果を広く報告することにより、CLTの一層の普及推進を図ります。

日時
令和6年3月4日(月) 13:00~16:30
令和6年3月5日(火) 13:00~16:30
(両日とも12:30開場 両日共)

会場
東京大学弥生講堂一条ホール
東京都文京区弥生1-1 東京大学弥生講堂内

定員
対面 100名 WEB 1,000名
※WEB 観覧者はインターネット経由で参加可能ですが、観覧できる範囲が限定されます。
※対面参加は「観覧券」を事前に申し込みが必要です。
※会場：WEB 観覧券共に、会場・WEB共に「観覧券」を申し込みが必要です。

参加費
対面 観覧券 無料 WEB 共に無料

説明資料
会場 講演当日、受付で配布いたします。 WEB 講演当日、受付で配布いたします。

お申し込み
受付開始 令和6年2月2日より
以下のURL QRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/poFCywjAdVQ3pQX>



プログラム

令和6年3月4日(月) 13:00 ~ 16:30

13:00 開会 主催者 実証事業

13:10 成果報告
①山の手会実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
②株式会社ゆうき新建築(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社ゆうき/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
③新建築研究所CLTパイロットビルの設計・建築 建築設計 株式会社新建築研究所/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
④株式会社CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社CLT実証事業/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑤山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑥山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑦山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑧山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑨山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑩山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑪山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑫山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑬山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑭山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑮山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑯山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑰山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑱山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑲山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
⑳山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉑山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉒山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉓山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉔山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉕山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉖山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉗山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉘山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉙山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉚山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉛山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉜山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉝山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉞山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㉟山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊱山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊲山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊳山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊴山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊵山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊶山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊷山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊸山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊹山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊺山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊻山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊼山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊽山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊾山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所
㊿山の手会CLT実証事業(建築工事)の設計・建築 建築設計 株式会社山の手会/株式会社MKNDA architects 一般建築士事務所

（2）令和6年度 成果報告会タイトル：－CLT の標準化から見える都市(まち)の木造化－

開催日：令和7年3月4日（火） 13:00～16:30

令和7年3月5日（水） 13:00～16:30

会場：木材会館（東京都江東区新木場1-18-8）

報告形式：会場参加＋WEB を用いたオンライン報告会

定員：129名（対面）+297名（WEB）

CLTを活用した建築物等実証事業(第3期)成果報告会
公益財団法人 日本住宅・木材技術センター協議会 合同開催
— CLTの標準化から見える都市(まち)の木造化 —



CLT(構造集成材)は木造建築の可能性を広げるものとして期待されています。令和3年3月には閣下「CLTの普及に向けた新ロードマップ」として、令和7年度までの5年間のCLT普及方針が示され、CLTの一層の需要拡大の取組が展開されています。こうした中、研究機関や民間事業者においては諸等の支援策も活用しながら様々な取り組みが進められ、CLTを活用した建築物は令和6年度に1,300件を超える見込みです。

当センターでは平成26年度から林野庁補助事業「CLTを活用した建築物等実証事業」において、CLTの実用化に向けた取り組みを行っており、本成果報告会では、令和6年度における実証事業の成果を広く報告することにより、CLTの一般の普及促進を図ります。

日時 令和7年3月4日(火) 13:00 ~ 16:30
令和7年3月5日(水) 13:00 ~ 16:30
会場 木材会館 7F大ホール
東京都江東区新木場 1-18-8 7階
定員 100名(当日券) 1,000名(前売券)
参加費 無料
お申し込み 7月24日(金) 20時 以下URL、QRコードからお申込みください。
<https://forms.gle/CMqjuK3W3Fgv>



プログラム

令和7年3月4日(火) 13:00 ~ 16:30

13:00 開会 主催者・来賓挨拶

13:10 ①木質資源の活用と木材加工技術の向上
②CLTの普及に向けた取り組み
③CLTの活用による環境負荷低減と省エネルギーの向上
④CLTの活用による省エネルギーの向上
⑤CLTの活用による省エネルギーの向上

14:40 休憩(10分)

14:50 ①CLTの活用による省エネルギーの向上
②CLTの活用による省エネルギーの向上
③CLTの活用による省エネルギーの向上
④CLTの活用による省エネルギーの向上
⑤CLTの活用による省エネルギーの向上

16:30 閉会

令和7年3月5日(水) 13:00 ~ 16:30

13:00 開会

13:10 ①木質資源の活用と木材加工技術の向上
②CLTの普及に向けた取り組み
③CLTの活用による環境負荷低減と省エネルギーの向上
④CLTの活用による省エネルギーの向上
⑤CLTの活用による省エネルギーの向上

14:40 休憩(10分)

14:50 ①CLTの活用による省エネルギーの向上
②CLTの活用による省エネルギーの向上
③CLTの活用による省エネルギーの向上
④CLTの活用による省エネルギーの向上
⑤CLTの活用による省エネルギーの向上

16:30 閉会

お申し込み 受付開始 7月24日(金) 20時
以下のURL、QRコードからお申込みください。
<https://forms.gle/CMqjuK3W3Fgv>

お問い合わせ: CLTを活用した建築物等実証事業 成果報告会事務局 (株式会社ラン・プロデュース内)
〒145-0091 東京都江東区新木場1-18-8 7階

1. 4. 2 展示会への出展

これまでの実証事業の成果や、CLTを用いた建築物等の普及のため、展示会へ出展し、「CLT建築事例集」や「CLT活用建築物等実証事業パンフレット」等を来場された方に配布し、普及に努めた。出展した展示会は以下のとおり。

展示会タイトル：非住宅 木造建築フェア 2023

開催日：令和5年5月25日(木)～5月26日(金)

会場：東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

展示会タイトル：建材EXPO(大阪)

開催日：令和5年8月30日(水)～9月1日(金)

会場：インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102)

展示会タイトル：ウッドワンダーランド2023

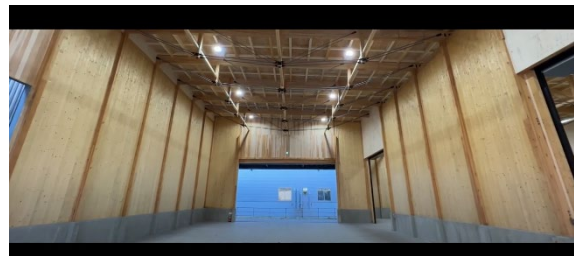
開催日：令和5年10月5日(木)～10月8日(日)

会場：ポートメッセなごや(愛知県名古屋市港区金城ふ頭2-2)



1. 4. 3 CLT 活用建築物等実証事業の事例紹介動画の作成

令和5年度に竣工した実証事業1事例について、インタビュー形式で紹介動画を作成し、本実証事業のホームページ等にて公開し、CLTを用いた建築物の参考となるよう普及に努めた。



1. 4. 4 CLT 活用建築物等実証事業のホームページの拡充

本実証事業のホームページの拡充を行い、ホームページ利用者が視覚的にわかりやすく、また利用しやすいよう拡充を行った。

今年度行った拡充は以下のとおり。

- ① トップページ用スライド写真変更
- ② トップページ紹介動画の掲載
- ③ CLT 建築事例集紹介（リンク付）
- ④ 最新年度報告書紹介（リンク付）



1. 4. 5 成果報告の構成について

次項より、各実施者において作成した成果報告を掲載する。成果報告は表 1.4.2 の構成から成る。

表 1.4.1 成果報告の構成

項目	内 容		様 式
1	建築物の仕様一覧	建築物の概要、CLT 等の仕様、仕上、構造、防耐火、施工、工程、体制について記載。	指定様式 1 ページ(表 1.4.2)
2	実証事業の概要	事業で取り組んだ建築物の概要、実施体制、実証方法、成果等を簡潔にまとめたもの。	指定様式 4 ページ(成果報告会配布資料と同じ)
3	成果物	試験結果、設計図面、設計手引き、施工レポート 等、それぞれの事業で取り組むこととしたものの具体例。	任意様式

表 1.4.2

事業名			
実施者（担当者）			
建築物の概要	用途		
	建設地		
	構造・工法		
	階数		
	高さ（m）		
	軒高（m）		
	敷地面積（㎡）		
	建築面積（㎡）		
	延べ面積（㎡）		
	階別面積	1 階	
	2 階		
	3 階		
C L T の仕様	C L T 採用部位		
	C L T 使用量（m ³ ）		
	壁パネル	寸法	
		ラミナ構成	
		強度区分	
		樹種	
	床パネル	寸法	
		ラミナ構成	
		強度区分	
		樹種	
	屋根パネル	寸法	
		ラミナ構成	
強度区分			
樹種			
木材	主な使用部位（CLT以外の構造材）		
	木材使用量（m ³ ）※構造材、羽柄材、下地材、仕上材等とし、CLT以外とする		
仕上	主な外部仕上	屋根	
		外壁	
		開口部	
	主な内部仕上	界壁	
		間仕切り壁	
		床	
	天井		
構造	構造計算ルート		
	接合方法		
	最大スパン		
	問題点・課題とその解決策		
防火	防火上の地域区分		
	耐火建築物等の要件		
	本建築物の防耐火仕様		
	問題点・課題とその解決策		
温熱	建築物省エネ法の該当有無		
	温熱環境確保に関する課題と解決策		
	主な断熱仕様 （断熱材の種類・厚さ）	屋根（又は天井）	
		外壁	
床			
施工	遮音性確保に関する課題と解決策		
	建て方における課題と解決策		
	給排水・電気配線設置上の工夫		
	劣化対策		
工程	設計期間		
	施工期間		
		C L T 躯体施工期間	
	竣工（予定）年月日		
体制	発注者		
	設計者（複数の場合はそれぞれ役割を記載）		
	構造設計者		
	施工者		
	C L T 供給者		
	ラミナ供給者		

2 成果報告